

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	FUNDA					公表日	2026年2月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児童の人数に合わせて使う部屋を選んでいる。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	どのプログラムに参加しているのか、時間割のようなボードに名札を貼り、わかりやすくしている。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	ソファなど休憩できるスペースも確保している。 毎日掃除をしている。 毎日掃除、消毒を徹底している			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0				
業務	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日ミーティングをして、職員全体で情報共有、支援案の相談や改善を行なっている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者の方からいただいたご意見は、プログラム作りや支援方針に反映するようにしている。 ・全員で共有して改善点を話している			

務 改 善	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日必ずミーティングをしている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者委員会の設置は今後の課題とする
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	来所する児童の現状に合わせて外部研修を受けたり、事業所内での研修や報告を行なっている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・多角的な視点から見るために複数職員で児童への聞き取りやアセスメントを行なっている。 その上で、保護者の意向なども聞き取りながら計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画作成には職員全体が関わっている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	ミーティングで確認をしている。 支援前に児童の計画を確認してから支援している	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	検査結果などのほか、最近のできごとの聞き取りやその日の調子も含めて様子を見ながら支援している。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で相談しながら作成している。 ・児童や保護者のその時々のニーズも聞き取りしている。 ・毎月職員全員で案を出している。 	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	それぞれの職員が新しいプログラム案を出すほか、児童や保護者からの意見も積極的に取り入れている。	日程的に参加しにくい場合は、機会を増やすほか、児童の意向や事情を聞き、相談しながらすり合わせできたらと思う。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	集団活動に入りにくい場合は、個別対応から進めるなど、児童の状態に合わせて支援している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・進行や児童のサポートなど、役割分担して支援にあたっている。 ・毎日確認している。 	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後は軽く振り返りをして、次の日に前日の振り返りをしている。 ・次の日が休みの職員は振り返りの記録を残している 	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		

関 係 機 関 や 保 護 サ	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者が導きすぎず、児童自身で考え、失敗したり試行錯誤できる機会も作るようにしている。 ・参加するプログラムを自分で選んでもらっている。 	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		対象者がいない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		

育 と の 連 携	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹施設との交流は盛んにしている。 ・外出イベントで、少し交流がある ・地域の同年代との交流は少ない。 	地域のイベントに出かけることで一般の人との交流の機会はあるが、同世代の子どもたちと関わる機会は今後増やしていきたい。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		自立支援協議会には毎回参加しています。会議で得た情報など、職員間の共有をしっかりしていく。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	<p>障害年金やゲーム依存に関しての研修を行ったことがある。</p> <p>保護者会、親力フェ（保護者が気軽に交流できる会）を開催して、定期的に研修もしている</p>	保護者が参加できる会や研修は定期的に開催しているが、よりニーズに合わせた内容の工夫をしていく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧に行なっている	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		相談していただける時間や機会は常に設けているが、敷居を下げる工夫は必要を感じる。

保 護 者 へ の 説 明 等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	親力フェスを定期的に開催している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信の発行やインスタでの活動報告を行なっている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	文面を簡潔にするなど、わかりやすく伝える工夫をしている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> 保護者やきょうだいが参加できる機会は時々作っているが、一般の人を招待するなどはまだできない。 卒業生をイベントに呼び、一緒に活動する機会はある。 図ってはいるが、うまく進めれないことが多い。 	実際に取り組まれている事業所の見学にいくなどしていきたい。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	毎年行なっている。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者や本人にしっかりと聞き取りを行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	イベントで現地集合、現地解散する場合など、保護者としっかりと連携をとっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		